

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
大阪府八尾市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前 職】
組み込み系SE
(株式会社ワコム)
【活動時期】
R5.10～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

SEに就くものの、高度すぎる専門職に将来性を感じず退職しました。

その後、世界を旅するうちに「都心に住む人を対象にDIYを通じて『自立共生』を学べるコミュニティ」を作りたいと思うようになりました。そのために全国のコミュニティをめぐり、相模原市にある「廃材エコヴィレッジゆるゆる」へ滞在し、相模原市の地域おこし協力隊の存在を知って応募しました。

現在は相模原市の中山間地域を対象に活動しています。

今後の抱負・任期後の目標

1. DIYを通して中山間地域でのビジネスやライフスタイルの支援をしたいと思っています。例えばDIYでキッチンカーを作る、穴の空いた服をダーニングで治す、電子工作でIoT機器を作る等。シェア工房やワークショップを通して実現したいです。
2. 空き家活用プロジェクトとして誰でもできるような遺品整理や小規模リフォームなどを行い、空き家の活用を促していきます。
3. 出張たこ焼き屋を通して世界に相模原市の魅力を発信し、関係人口を創出するきっかけになればと考えています。
4. 1～3とうまく連携させた地域密着型のゲストハウスを作りたいです。特に都心から来る人をターゲットにしたいです。

活動内容

●「デジタル機器なんでも相談会」

「デジタル機器なんでも相談会」は、地域あるいは地域住民へのデジタル化支援を通じたデジタルデバイドの解消を目指している。相談者の個別のお悩みきめ細やかに対応することにより、相談者の評価も高く、2024年1月より10ヶ月間の相談実績はのべ250名以上となっている。



●地域産食材を使ったたこ焼き出店

銀だこ焼き修行5年の経験を生かし、相模原市の藤野地区の特産品であるゆずを使ったたこ焼きを開発。野外イベントで定期的に試食販売をして相模原市の魅力を発信している。ゆずだけでなく、地域産の小麦粉やネギなども使用している。

またキッチンカーなどの野外出店にまつわる保健所や各イベントでの売り上げデータのまとめを行うなど、ビジネス面での支援も行っている。



●電子工作の支援

バリアフリープロジェクトとして、藤野地区在住の高校生がコミュニケーションロボットの開発に取り組んでおり、組み込みシステム開発に協働で取り組んだ。

また夏休みの子供企画として「電子工作クラブ」の先生を実施。参加者はテーマ別にプログラミングを用いた工作物を作り上げた。子供のころからテクノロジーの楽しさに触れることでビジネスや起業の可能性を広げていきたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

- ・メールアドレス（個人）ryoma@morilab-fujino.jp
- ・電話番号（個人）080-4778-2883 / 電話番号（共用）080-3428-9790

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

- ・Instagram : https://www.instagram.com/ryoma_nakajima
- ・森のイノベーションラボFUJINO（活動拠点） : <https://morilab-fujino.jp/>